

みなさん、おはようございます。

明日六月八日は、大阪市立玉出中学校の七十歳の誕生日、創立記念日となります。

また、昨年末に音楽室・理科室、そして図書室を中心とする西館が完成し、その完成をお祝いする日となります。

一日早いですが、本日、記念式典を行い、そのお祝いをしたいと思います。

本来でしたら、西成区役所・

大阪市教育委員会、関係諸機関等、多くの地域の方々や保護者の方々にもお越しいただき、大々的にお祝いをするべきところですが、

残念ながら、新型コロナウイルス感染予防に係る緊急事態宣言が出されて

いますので、学校内、教職員と生徒のみをさんだけの祝賀会となつてしましました。

しかし、これを、残念とどうえるのか、内輪で行う実りのある会と捉えるのかは、みなさんの気持ち一つだと思います。平成の時代が終わり令和の時代が訪れ、技術革新のスピードが、ますます速くなつてている現代。昔と比べると驚くような変化が身の回りで起きています。

第四次産業革命といわれるAIを中心としたバーチャル化や自動化は、生活様式の変化をもたらしました。

これは、「新型コロナウイルス」感染予防対応により、

ますます拍車がかかつた
感があります。

このような時代に、学校はどうあるべきか、本校の一〇年後、二〇年後の姿はどうあるべきか
考えることとなりました。

そこで、そのヒントは、
本校の七十年の歴史を振り返ることから得られるのではないかと
考えるに至りました。

そこで、本校の歴史を記した
記念誌から、本校が設立された当時の
様子や、その後の変遷について、
振り返つてみたいたと思います。

本校は、第二次世界大戦から
ほんの二年と半年ほどの
昭和二八年四月、当時の多くの
地域の方々から土地をお譲り

いただき、この地に
大阪市立西成第五中学校として
産声をあげました。

同年六月に大阪市立玉出中学校と
改称し、開校にいたします。

これまでに約一万四千余名の
卒業生が、地域の活性化を支える
人材として、また各界において有為な
人材として、活躍しています。
ただ、残念ながら数年前に学校の
荒廃が進みました。

そこで、「玉出中学校生徒一〇カ条」
を掲げ、「玉出中学校見守り
ネットワーク」を立ちあげ、
地域の方々を中心には、学校・保護者・
関係諸機関が一丸となり、
学校の正常化に取り組んできました。

おかげで現在は、落ち着いた雰囲気と
静かな環境で、日々の学校生活を
送れるようになりました。

また、「新型コロナウイルス」の
影響をも ものともせず、

今後も「五出中学校を大阪で一番の
学校にする」という強い信念を持って、
本校の教育を良い方向に導き、

「安全で安心な」教育環境を守り、
校訓の「勤勉・自律・協調」のもと、
「人にやさしい生徒、人にやさしい
五出中学生」を本分とし、
生徒が生き生きとし

「自ら考え行動できる」
五出中学校をつくるべく邁進して
いきましょう。

さらに、新たな学力を育成する教育に
も同様です。

これからも、創立七十周年を
一つの節目として、これまで学々と
築きあげてきた「地域とともににある、
地域の学校」という本校のよき伝統や
校風を尊重・継承して発展させて
いきましょう。

おわりに、この式典にかかわり
ご尽力いただきました関係各位に
心から感謝とお礼を申しあげ、
お祝いの言葉といたします。

令和3年6月吉日

大阪市立玉出中学校
校長 村瀬 香織